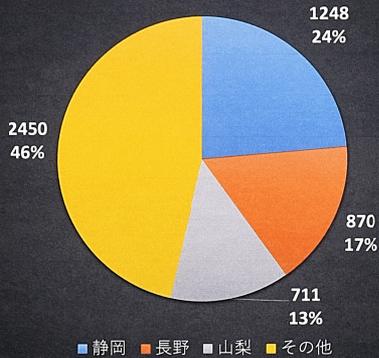
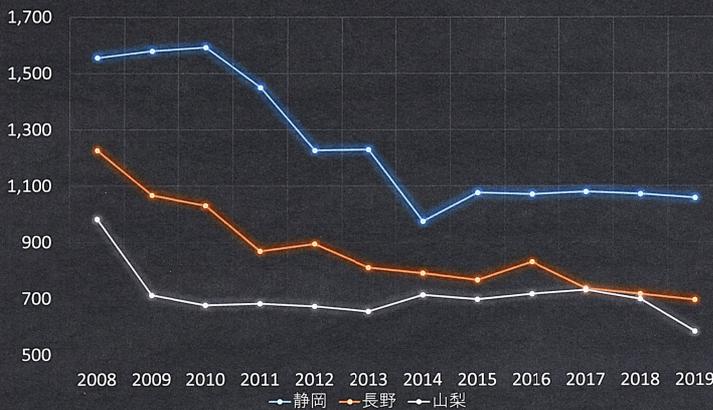


山梨のニジマスすいすい

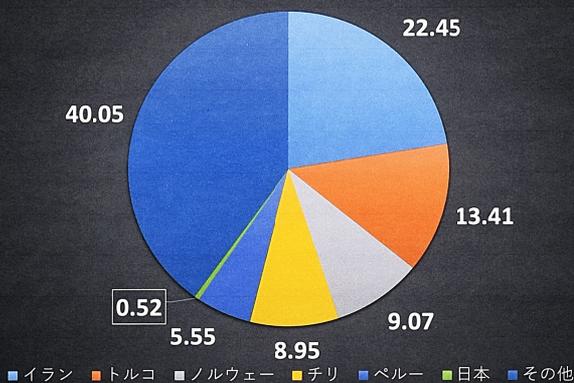
2008年から2019年まで上位3県と他県の生産量の平均(トン)



上位3県の2008年から2019年までの生産量(トン)



2019年の世界のニジマスの生産量(%)



塩山高校では、甲斐サーモンレッドの燻製を開発し、入賞をした。私たちは、それをきっかけに甲斐サーモンを中心としたニジマスに興味を持った。県内では、ニジマス釣りも有名であり、ニジマスをテーマに調べた。

2008年から2019年までの全都道府県・世界での生産量を調べ、グラフにした。

上のグラフは、2008年から2019年までの上位3県と他県の生産量の平均をまとめ、中心のグラフでは上位3県の実績をまとめた。

平均では、山梨県は3位だった。そして上位3県だけで平均の半分以上を占めていることがわかった。

生産量では、どの県でも年々、減少している。このグラフはコロナ禍前までのグラフであり、コロナ禍の今では消費量が減っているため、生産量も減っているだろう。

下のグラフは、2019年の世界のニジマスの生産量の割合のグラフである。

鮭といえばノルウェーが有名だが、同じようにニジマスもノルウェー産が多いかと思ったら、3位であり、イランが1位であり魚についてあまり聞かないので、予想外だった。

日本は世界と比べ、19位という結果であり、上位5国だけで世界の半分以上を占めている。

これらのグラフから、国内における山梨のニジマスの生産量の割合は高いが、年々減ってきていることが分かった。

また、世界では、日本の割合がかなり低く、和食ブームがあり、日本食だけでなく、日本の食材のおいしさも多くの人に知ってもらいたい。

